

建築確認申請事前調査報告書

令和 〇 年 〇 月 〇 日

下記の建築計画にあたり、事前に調査しましたので報告します。
この報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

報告者	事務所名	〇〇〇〇建築設計事務所	氏名	〇〇〇〇
	事務所登録	(1) 級 第 〇〇〇 号	電話番号	〇〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

1. 建築(築造)計画の概要

(フリガナ)	アマクサ シロウ	工事着手/完了予定年月日	〇年 〇月 〇日 / 〇年 〇月 〇日
建築主氏名	天草 市郎	主要用途	一戸建ての住宅
地名地番	天草市 〇〇〇町〇〇番地	敷地面積	250.23 m ²
工事種別	新築・増築・用途変更・その他()	建築・延床面積	123 m ² 246 m ²
構造種別	木造・S造・RC造・その他(造)	階数・最高の高さ	2 階 6.5 m

2. 各種法令に基づく区域、必要となる届出など

都市計画法上の容積率を記入してください。	都市計画区域(非線引き) ・ 牛深都市計 低層住居専用(高さ制限10m・壁面後退1m) ・ 1 ・ 近隣商業 ・ 商業 ・ 準工業 ・ 工業	区域等の確認後に各課名印の押印、担当者の記名、確認日の記入などを受けてください。			
建ぺい率	60 %	容積率	200 %	防火地域	準防火地域 ・ 指定なし
地区計画など	都市計画施設 ・ 臨港地区 ・ 地区計画 ・ 住居番号設定区域(な)	市本庁舎: 都市計画課 都市計画係 (〇〇) 6/			
景観計画	景観届(要) ・ 不要 ※景観法第16条及び市景観条例	市本庁舎: 都市計画課 景観公園係 (又は牛深支所建設課) 都市計画課景観公園係 (〇〇) 6/			
開発行為など	都市計画法に基づく許可 済 ・ 要(申請中・未申請) ・ 不要 ※済の場合(許可・完了番号:)	市本庁舎: 建設総務課 政策調整係 建設総務課政策調整係 (〇〇) 6/			
埋蔵文化財	発掘届(要) 着手60日前迄) ・ 不要 ※文化財保護法第93条	市本庁舎: 文化課 世界遺産・文化財係 文化課 世界遺産・文化財係 (〇〇) 6/			
下水道処理区域	内(下水道台帳確認) ・ 外(浄化槽設置届の添付)	市(本港浄化センター内): 下水道課 施設管理係 下水道施設管理係 (〇〇) 6/			
敷地の安全性	1.急傾斜地崩壊危険区域 内(対策工事 済 ・ 未) ・ 外 2.土砂災害特別警戒区域 内 外 ※上記1又は2の区域内の場合は、市建築課建築指導係へ →	熊本県(天草広域本部内): 土木部維持管理課 天草広域本部土木部維持管理課 (〇〇) 6/			
法第22条区域	区域(内) ・ 外	熊本県(天草広域本部内): 土木部工務第二課 天草広域本部土木部工務第二課 (〇〇) 6/			
建築協定	区域(内) 光の森・北稜・大矢崎・船の尾(外) ※建築基準法第69条	市本庁舎: 建築課 建築指導係 建築課建築指導係 (〇〇) 6/			
中高層建築物計画上の配慮	該当する ・ 該当しない ※共同住宅で、3F10戸以上など	市本庁舎: 建築課 建築指導係 () /			
建築物省エネ法	届出 要 (不要) ※住宅: 床面積300m ² 以上(棟単位) 適判 要 (不要) ※非住宅: 床面積300m ² 以上(棟単位)	※特記事項			
熊本県環境配慮制度	届出 要 (不要) ※床面積2,000m ² 以上(棟単位)	区域等の確認後に、各課名印の押印、担当者の記名、確認日の記入などを受けてください。			
やさまち条例	事前協議 要 (不要) ※用途に応じた床面積(棟単位)				
中間検査	検査 要 (不要) ※階数3以上の長屋・特殊建築物など				
建設リサイクル法	届出 要 (不要) ※新築・増築工事の床面積500m ² 以上				

3. 敷地の接する道路等の概要

道路種別	現況幅員	関係部署(確認者名・確認日)	建築基準法に基づく道路判定の確認、判定日
国道	m	熊本県(天草広域本部内): 土木部維持管理課 () /	市本庁舎: 建築課 建築指導係 建築課建築指導係 (〇) 6/
県道	m	() /	1項 号・2項・法定外・() 年 月 日
市道	3.0 m	市本庁舎: 土木課 土木管理係 土木課土木管理係 (〇) 6/	1項 号・2項・法定外・() 年 月 日
里道	m	() /	1項 号・2項・法定外・() 年 月 日
その他(管理道路など)	m	市所管課、所有者など () /	1項 号・2項・法定外・() 年 月 日
位置指定道路	m	指定番号 指令第 号 年 月 日	市本庁舎: 建築課 建築指導係 () /
開発行為による道路	m	開発許可番号 年 月 日	市本庁舎: 建設総務課 政策調整係 () /

4. 敷地内にある既存ブロック塀等の安全性の確認

◆対象構造・規模	点検結果	段数 (5) 段 高さ (110) cm ※高低差がある場合は、低い側からの段数・高さを記入してください。
【補強コンクリートブロック造】 地盤上80cm以上かつ3段以上	対象あり	※別紙「既存ブロック塀等の安全点検・是正報告書」の「①点検」欄に点検結果を記入してください。
【組積造】地盤上60cm以上	対象なし	■ 全てOK → □ 構造計算等での安全性の確認ができる □ NGあり → □ は正が必要 是正計画を記入し、確認申請に添付してください。

【添付図書】付近見取図、字図、配置図(建築基準法施行規則に基づき)

【記載要領】 ◇ 調査結果を、○で囲むなど記入してください。また各課の記名・確認日の記入を受けてください。

◇ 敷地が2以上の用途地域にまたがる場合は用途地域すべてについて記載してください。

【注意事項】 ■ 急傾斜地崩壊危険区域内の対策工事の確認(熊本県)には、1週間ほどかかる場合があります。なお、現地写真(敷地から急傾斜地側を映したものを添付いただくと円滑に確認できます。

■ 下水道処理区域内の場合は、下水本管及び公共汚水樹の設置状況について、必ず、下水道台帳及び現地を確認ください。

□ 調査報告書は、確認申請を行う前に作成し、建築確認申請図書の正本に添付してください。

□ 必要な許可証、届出済証、協議済証等は、建築確認申請図書に添付して下さい。

点検結果を記した「既存ブロック塀等の安全点検・是正報告書」を添付してください。

を記載したもの。